

平成29年度半田市特別会計決算概要

○ 中小企業従業員退職金等福祉共済事業特別会計

(単位：円)

会 計 区 分	予 算 額	歳 入 決 算 額	歳 出 決 算 額	歳入歳出差引額
中小企業従業員退職金等 福祉共済事業特別会計	165,586,000	147,619,417	121,975,847	25,643,570

○ 乙川中部土地区画整理事業特別会計

(単位：円)

会 計 区 分	予 算 額	歳 入 決 算 額	歳 出 決 算 額	歳入歳出差引額
乙川中部土地区画整理 事業特別会計	591,434,000	571,202,869	562,019,269	9,183,600

乙川中部土地区画整理事業特別会計の歳出決算額は 562,019千円（前年度 637,043千円）で、75,024千円 11.8%の減である。建物移転については、移転件数3件を目標として交渉を続けた結果、2件の契約に至ったが、1件は他の地権者の移転計画に遅れが生じたため未契約となり、結果として移転率96.8%となった。また保留地処分について、分割販売した結果、予算を上回る163,250千円の収入を得た。主な歳出は測量調査設計委託料、区域内保全工事、区画整理工事、物件移転補償費、市債に係る元金・利子の償還金である。

○ J R半田駅前土地区画整理事業特別会計

(単位：円)

会 計 区 分	予 算 額	歳 入 決 算 額	歳 出 決 算 額	歳入歳出差引額
J R半田駅前土地区画 整理事業特別会計	165,489,000	126,605,088	124,667,503	1,937,585

J R半田駅前土地区画整理事業特別会計については平成29年8月に事業計画決定の公告を行い、仮換地指定前までに事業で不足する公共用地（減価補償金相当）の確保を予定しており、平成29年度の公共用地取得率は目標値80.1%に対し実績は80.6%となった。主な歳出はJ R半田駅前土地区画整理事業調査業務委託料、土地区画整理用地取得費、物件移転補償費である。

○ 学校給食特別会計

(単位：円)

会 計 区 分	予 算 額	歳 入 決 算 額	歳 出 決 算 額	歳入歳出差引額
学校給食特別会計	484,825,000	480,385,449	468,820,202	11,565,247

○ 黒石墓地事業特別会計

(単位：円)

会 計 区 分	予 算 額	歳 入 決 算 額	歳 出 決 算 額	歳入歳出差引額
黒石墓地事業特別会計	15,887,000	15,886,672	15,886,672	0

○ 駐車場事業特別会計

(単位：円)

会 計 区 分	予 算 額	歳 入 決 算 額	歳 出 決 算 額	歳入歳出差引額
駐車場事業特別会計	30,467,000	29,671,849	29,671,849	0

○ モーターボート競走事業特別会計

(単位：円)

会 計 区 分	予 算 額	歳 入 決 算 額	歳 出 決 算 額	歳入歳出差引額
モーターボート競走事業特別会計	5,155,000	3,442,242	3,442,242	0

○ 国民健康保険事業特別会計

(単位：円)

会 計 区 分	予 算 額	歳 入 決 算 額	歳 出 決 算 額	歳入歳出差引額
国民健康保険事業特別会計	12,275,882,000	11,946,114,196	11,558,294,203	387,819,993

国民健康保険事業特別会計の歳入歳出差引額は387,820千円（前年度 420,709千円）の黒字となった。これは、被保険者数の減少のより歳入において国民健康保険税2,427,028千円（前年度2,632,700千円）が減少になったものの、前述のとおり被保険者数の減少と特定健診等の推進による医療費の減少などにより、歳出で保険給付費総額6,841,114千円（前年度7,036,181千円）が減少したことが主な要因である。

○ 介護保険事業特別会計

(単位：円)

会 計 区 分	予 算 額	歳 入 決 算 額	歳 出 決 算 額	歳入歳出差引額
介護保険事業特別会計	8,044,756,000	8,116,340,405	7,864,417,519	251,922,886

介護保険事業特別会計の歳入歳出差引額は251,923千円（前年度 255,347千円）の黒字となったが、高齢化に伴う要介護（要支援）認定者が平成30年3月末現在で4,698人（前年度 4,550人）と増加しており、保険給付費総額は7,224,298千円（前年度 7,036,577千円）で、187,721千円 2.7%の増であった。

○ 後期高齢者医療事業特別会計

(単位：円)

会 計 区 分	予 算 額	歳 入 決 算 額	歳 出 決 算 額	歳入歳出差引額
後期高齢者医療事業特別会計	1,357,584,000	1,327,478,767	1,325,204,043	2,274,724

後期高齢者医療事業特別会計の歳入歳出差引額は 1,993千円（前年度 2,926千円）の黒字となったが、高齢化に伴う被保険者数が平成29年3月で13,733人（前年度 13,207人）と増加しており、県広域連合への納付金は 1,262,130千円（前年度 1,166,089千円）で、96,041千円 8.2%の増であった。